

## インフォメーション

# 全農と愛知県が共同育成した スプレーギク新品種「あいむリゾート」

全農は、スプレーギクの研究・開発の一環として、平成18年度から愛知県と新品種の共同育成に取り組んできた。今回は、その取り組みで開発された新品種を紹介する。

### 夏場の高温でも開花が遅れない品種の開発

愛知県は、作付面積211ha、出荷本数8,760万本（平成24年度実績）とシェア35%を誇る全国一位のスプレーギク産地である。また、全農育成品種の全出荷量のうち41%が愛知県産となっている。近年、愛知県では、夏の猛暑による気温の上昇にともない、夏秋ギクの開花が遅れ問題になっている。開花が遅れると、盆や彼岸の相場が高い需要期に計画的な出荷ができなくなるため、生産者の収益は減少する。また一方で、花盤が黄化しにくく、花持ちがよいなどの高品質な品種が以前から望まれている。

そこで、全農では、夏場の高温に対しても開花が遅れず、よりよい品質の品種を開発するため、平成18年度から愛知県農業総合試験場と共同研究を開始した。

### 生産者も加わった育成系統の選抜

全農と愛知県農業総合試験場が持つ品種をそれぞれ交配親として用いて、一次・二次選抜で花型・花色・スプレーフォーメーション（草姿）がよい育成系統を、それぞれの試験圃場で選抜した。その後、豊川市と田原市の生産者圃場で、現地での栽培適性を調査した。その際には生産者も加わり、生産者目線でも有望と思われる育成系統を選抜した。また、市場に切り花を提供して、育成系統の商品性を評価した。こうして複数回にわたる選抜・評価を重ね、品種を選抜した。

### 共同育成した新品種「あいむリゾート」

#### 品種の特長

「あいむリゾート」はイエロー、シングルタイプの夏秋ギク品種である。

- ① 到花日数は6.5週程度と早く、高温下でも電照後7週以内に開花するため、開花が遅れにくい。
- ② 切り始めから切り終わりまでの期間は10～15日であり、開花の揃いはよい。

③ 草丈は108～126cmと大きい。

④ 花数は平均10以上つけるため、ボリュームがある。また、個体によるバラつきも少ない。

⑤ 花盤がきれいな緑色のため、花弁とのコントラストが美しい。

⑥ 茎の伸長性がよく固さも十分にあるため、生産性にも優れている。

#### 栽培上の注意点

幼若性（植物が幼若なときの性質。開花能力がなく、葉や茎の形は幼形を示している）を持たない品種であるため、最低4時間以上は電照を行い、早期発蕾を予防する。また、シェード処理（短日処理：日照時間を短くして、通常より早く開花させる）をしないと開花しないので、消灯後はシェード処理をして12～13時間日長で栽培管理を行う。茎の伸長性がよく伸びすぎることがあるので、わい化剤（ビーナインなど）を散布して草丈を調節する必要がある。わい化剤は消灯後に1回散布するとよい。病害虫については、アザミウマによる食害が出やすい品種のため、早期防除に努める必要がある。

#### 普及開始時期

「あいむリゾート」は、愛知県との共同育成品種であるため、愛知県内では平成26年度からの出荷開始に向けて普及を進めるが、県外の産地については平成27年度からの出荷開始に向け普及していく予定である。



▲あいむリゾート



▲圃場での栽培試験の様子

営農・技術センターでは、毎年9月下旬、10月下旬および2月下旬に開花試験を行い、品種開発をしています。開花試験をご覧になりたい方や、上記品種や全農品種についての詳しい説明およびパンフレットを希望の方は、下記までご連絡ください。

●問い合わせ先

全農 営農・技術センター 農産物商品開発室 ☎0463-22-1024